

日本英語学会第37回大会
ワークショップ
プログラム

2019年11月9日(土)9時30分から11時45分まで
関西学院大学

(ワークショップ)

第1室 「言語の多様性再考:外在化の観点から」 (G号館2階 201)

責任者 北田伸一 (東京理科大学)
司会者 北田伸一 (東京理科大学)
発表者 那須川訓也 (東北学院大学) 「音節構造の均一性と外在化による音声的多様性」
発表者 北田伸一 (東京理科大学) 「代名詞主語省略の再考」
発表者 前田雅子 (西南学院大学) 「介在効果の再考」
発表者 北原久嗣 (慶應義塾大学) 「多重指定部構造の再考」

第2室 “Exploring Pair-Merge of Heads” (G号館2階 202)

責任者 Nobu Goto (Toyo University)
司会者 Nobu Goto (Toyo University)
発表者 Yushi Sugimoto (University of Michigan) “Possible Modes of Pair-Merge”
発表者 Nobu Goto (Toyo University) “A Conspiracy of Feature-Inheritance and Pair-Merge”
発表者 Andreas Blümel (University of Göttingen) “Empirical Consequences of the Hiding Theory”

第3室 「英語史における形式の出現と消失について—生成文法理論による説明」 (G号館2階 IS208)

責任者 近藤亮一 (弘前大学)
司会者 近藤亮一 (弘前大学)
発表者 松元洋介 (中京大学) 「英語史における WH 不定詞節の出現について」
発表者 横越梓 (名古屋工業大学) 「英語における二次叙述の史的変遷」
発表者 近藤亮一 (弘前大学) 「関係詞 *that* の歴史的变化と反 *that* 痕跡効果」
発表者 山村崇斗 (筑波大学) 「形容詞残置名詞句省略の史的変遷」

(スチューデント・ワークショップ)

第4室 「意味論・語用論的な分析が求められる言語現象とは何か」 (G号館2階 IS206)

責任者 水谷謙太 (大阪大学大学院)

司会者 田中英理 (大阪大学大学院文学研究科)

発表者 水谷謙太 (大阪大学大学院) “The Rescuing Effect of Degree Morphemes”

発表者 井原駿 (大阪大学大学院/
日本学術振興会特別研究員) “Pragmatics in conditionals: implicature,
entailment, and Hurford's constraint”

発表者 平山裕人 (大阪大学大学院/
日本学術振興会特別研究員) “Association between floating quantifiers and
their hosts beyond islands: a possibility of
semantic analysis”

* ハンドアウトは各企画責任者が用意します。部数には限りがありますので予めご了承ください。

* 各ワークショップ会場の詳細につきましては、「大会資料・プログラム」をご覧ください。